

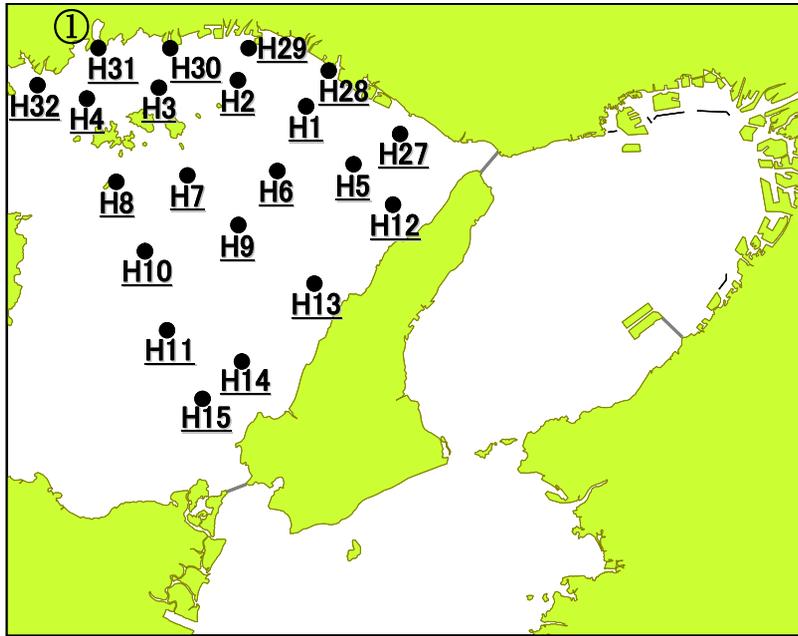
# 兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-02-17号(播磨灘全域)

令和2年10月1日

9月30日～10月1日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域：臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンのカレニア・ミキモトイとシャットネラ・オバータが確認されました。
- ・相生湾内(湾内西側)ではカレニア・ミキモトイによるパッチ状の着色が確認されています。着色海域でのかご漁業や、活魚運搬の際にはご注意ください。また、赤潮衰退期以降の酸素欠乏にもご注意ください。
  - ・現時点では相生湾外の海域では低密度で推移していますが、引き続き、海水の着色にご確認ください。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制： 10 細胞/ml	警戒体制： 100 細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制： 500 細胞/ml	警戒体制： 5,000 細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制： 50 細胞/ml	警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロバサ	シャットネラ・ベネネロサ	コロドニウム・ポクリロイダ	ヘテロガ・アカオ
H1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	15	0	0	0	0
H4	0	0	1	0	2	0	0	0	0
H5	0	0	0	0	9	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	2	0
H8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H10	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H13	0	0	2	0	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	8	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	33	0	1	0	0	0	0
H32	0	0	14	0	0	0	0	0	0
① 相生湾内	0	0	32,300	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・臨時調査を実施した場合は別途お知らせします。